

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下紙園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎信仰的学びの機会を増やす。
 - ◎地域との交流促進。
 - ◎神戸昇天教会リーフレットの作成。
- 聖語** 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。(ロマ12:15)

思い起こさせる聖霊

弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。(ヨハネによる福音書14:26)

司祭 ミカエル 小南 晃

今月、5月19日(日)に聖霊降臨日・ペンテコステを迎えます。

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。(使徒言行録2:1-5)

復活日から50日目、エルサレムにて、家に集まっていた弟子たちに聖霊が降りました。

これが聖霊降臨の出来事であり、復活日・イースター、降誕日・クリスマスと並んで祝われるべき、キリスト教の三大祝日の一つです。この時に、聖霊が弟子たちに降り、彼らは力を与えられてキリストの福音を世界に宣べ伝える者となりました。そして今現在も教会は福音を宣教しています。聖霊降臨日はその教会の誕生を祝う日とも言えます。

* * *

しかし聖霊という存在は、私たちにとって理解しにくい面があるのではないのでしょうか。しかし今、私たちが神の存在、神の導きや守りを感じるのには、全て聖霊の働きによるものです。一番身近で大切な存在が、逆に意

識されないことがあります。

例えば空気ですが、これは眼には見えないし、普段はこの空気を呼吸しながら生きていることを意識していないのではないのでしょうか。しかし3分も息をしないでいたら命を失います。しかし深呼吸などを行った時、空気を呼吸しながら生きていることを、改めて意識し、またそれによって身体に力や心地好き、安らぎを感じます。

聖霊は聖書の中で風や息として譬えられます。空気の大切さを深呼吸で意識するように、魂にとって大切な聖霊について、言わばその深呼吸とも言えるものがあります。それが祈りであり、礼拝です。

* * *

この聖霊の働きについて、それはとても一言ではいえませんが、冒頭の聖句、ヨハネ14:26にその一端が記されています。

「・・・聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる(ヨハネ14:26)」。ここでは聖霊について、聖霊が全てのことを教え、そしてイエスの言葉を思い起こさせると語られています。

しばしば親や祖父母、或いは恩師が語った言葉が、ずっと後になって、

多くはその方々が亡くなった後に、人生において大切なことを教えてくれていたと理解できたということを知ります。「親の小言と冷酒は後で効く」とも言うそうです。

イエスのみ言葉についても、イエスが、弟子たちと共におられた時に語られていながら、彼らには理解できなかった言葉が、イエスの十字架と復活、そして聖霊降臨後に、まるで封印が解かれたかのように、理解出来て行きました。

そして大事なことは、このことは、今の私たちにおいても起こるということです。まず何よりも、聖書を読んで、そこに書かれていることが、自分にとっても大切な導きになる時には、聖霊が働いて下さっているからこそ、そうした理解や受けとめ方が出来るのです。

また既に聞いていた、読んでいたイエスのみ言葉が、時として心に迫る導き、慰めや励ましの言葉として思い起こさせられたり、「ああ、このことなのか」と、心の奥から納得できる瞬間もあるでしょう。

しかし聖霊によって、み言葉を思い起され、教えられることが起こる為には、まずは御言葉を聞き、それを心に留めていなければなりません。そのためにこそ常に聖書に親しむことが大切なのです。

私たちが聖書や信仰的学びの機会を大切にして、そして聖霊の働きにより、封印を解かれたように聖書のみ言葉の豊かさを、恵みに触れて参ることが出来ますように、共に祈り、求めて参りたいと思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)